

中小企業版

# SBT 認定

Science Based Targets.

パリ協定と整合した温室効果ガスの排出削減目標

ブランドイメージ向上

優良人材確保

社会の注目・信頼の獲得

取引先の関係強化・新規開拓

入札・補助金での加点

好条件での投融資

地球温暖化抑止への貢献を社会に約束。  
国際機関の認定を受けて、一挙に脱炭素経営の最前線へ

## 取得する企業が急増中！

ブランド力を高める様々なメリットがあるSBT認定。納品先から取引の条件として取得を要請される事例も増えています。国内企業の取得数は前年度の2倍を上回っており、2025年9月には約2,000社が認定されています。



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

## ファストカーボンSBTプランならワンストップで

目標設定

申請 ※

認定

公表

CO<sub>2</sub>排出量の現状把握から削減目標設定、英文申請、認定後の公表まで継続的にサポートします！

(※ 業種によっては申請できない場合があります)



ファストカーボンは、CO<sub>2</sub>排出量削減のノウハウとソリューションを有する約3,000団体が参加している官民共創プラットフォーム「OZCaF」の公認ツールです。

「今いる人」「今あるデータ」だけでできる  
国際基準でのCO<sub>2</sub>排出量可視化

業界最安水準！ /



専門人材不要！ 未経験者でも使えるクラウドシステムで、CO<sub>2</sub>排出量をお手軽ながら国際基準で算定。会計情報を読み込むだけでもサプライチェーン排出量をScope・カテゴリー別に即座に可視化します。



# 認定取得数は5年間で20倍に(日本経済新聞掲載)

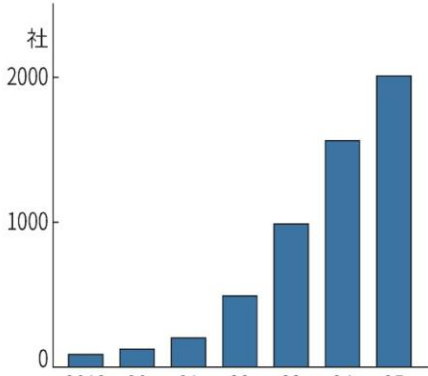
脱炭素認定「SBTi」、国内企業が2000社超参加 中小多く5年で20倍

2025/10/8 5:00 | 日本経済新聞 電子版

企業の温暖化対策目標を認定する国際機関「SBTi」に参加する国内企業が急増している。足元で2000社を超え、約5年間で20倍になった。中小企業が8割を占め、製造業を中心に供給網全体で脱炭素に取り組む動きが活発になっている。業種によっては参加が少ない部分もあり、認定取得を巡って業種間格差が広がる可能性もある。

SBTiはScience Based Targets Initiativeの略称で、国連機関などによって2015年に設立された。企業の削減目標について、気候変動の国際枠組み「パリ協定」に沿った科学的根拠に基づくものかを検証し認定している。製品流通後や取引先を含めた排出量「スコープ3」への対応などが要件で、目標設定の世界標準として注目する投資家が多い。


SBTi参加企業は増えている



年	社数
2019	100
20	200
21	400
22	800
23	1200
24	1800
25	2100

(注) 19～24年は年度末、25年は10月時点  
(出所) 環境省、WWFジャパン

- 国内の認定企業が2000社を超え、5年間で20倍に。
- 中小企業の認定が急増、大手企業らが取引先を選ぶ際の評価指標にSBTへの参加を取り入れ始めたことも起因。
- サプライチェーン全体のCO2排出量に関する情報開示の義務化が決まっており、今後ますます重要性が高まる。
- 認定取得が遅れる業界はグリーンウォッシュと批判されるリスクも。



「環境保護の認定」だけでなく「企業価値向上の認定」として注目

## 中小企業版SBT認定の要件

	中小企業向けSBT
対象	<ul style="list-style-type: none"><li>以下のうち3つ以上を満たすこと。<ul style="list-style-type: none"><li>従業員数250人未満</li><li>総売上高5,000万ユーロ(約80億円)未満</li><li>総資産2,500万ユーロ(約40億円)未満</li><li>林業・土地利用・農業(FLAG)セクターではない</li></ul></li><li>金融機関部門または石油・ガス部門に分類されない。</li><li>Scope1・2を合わせた排出量が1万トン未満。</li><li>子会社である場合、親会社を筆頭とするグループ会社ベースでも中小企業向けSBTの要件を満たすこと。</li><li>セクター別脱炭素アプローチ(SDA)を設定する必要がない業種であること。</li></ul>
目標年	申請時から 5年以上先、10年以内の任意年
基準年	2015年以降で選択
削減対象範囲	Scope1、2排出量(電気やガソリン等の燃料が主な対象)
目標レベル	<ul style="list-style-type: none"><li>■Scope1、2 1.5℃：少なくとも年4.2%削減 (次ページに最低限の削減率早見表)</li><li>■Scope3 算定・削減(特定の基準値は無し)</li></ul>
費用	1回USD1,250(外税)
承認までのプロセス	目標提出後、事務局による検証(事務局からの質問が送られる場合も) SBTi Webサイトに掲載されるまで通常約60日

※ 上記の対象要件を満たしていなくても、中小企業向けSBTが認められる場合があります。詳しくは一度お問合せください。